

浜田和樹博士記念号の発行に際して

浜田和樹教授は、2019年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。浜田教授は、西南学院大学で永年にわたって教育・研究ならびに行政に携わってこられ、関西学院大学が会計専門職大学院を開設した2007年4月に経営戦略研究科教授に迎えられました。浜田教授はその後、2012年に商学部に移籍され、爾来7年間、商学部および商学研究科の研究・教育、後進の育成ならびに行政に貢献をされてこられました。

浜田教授は、1969年4月に関西学院大学商学部に入學され、1973年3月に同学部をご卒業後、関西学院大学大学院商学研究科修士課程、筑波大学大学院社会科学研究科博士課程へと進學されました。そして1982年4月に西南学院大学商学部専任講師に就任され、1984年4月に同大学助教授、1990年4月に教授となられ、2003年7月から2年間は商学部長として重責を果たされました。その後、2007年4月に関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科の教授に就任され、会計専門職専攻長と経営戦略研究科選出大学評議員を務められました。その後、2012年4月に商学部教授に就任され、管理会計論、意思決定会計論などの講義を担当されました。

浜田教授のご専門は管理会計であり、博士学位論文『会計的業績管理モデルに関する研究』で1995年に筑波大学より博士学位（経営工学）を授与されておられます。先生は、企業の業績評価、意思決

定の科学的技法、バランスト・スコアカードの展開、およびサプライチェーン・マネジメントなどの新しい管理会計技法の研究に取り組み、数多くの研究論文、編著書、翻訳などとともに単著4冊を出版されております。そのうち『管理会計技法の展開』では日本管理会計学会学会賞（文献賞）を受賞されました。また浜田教授は、日本管理会計学会副会長・常務理事・理事、日本組織会計学会会長・副会長、日本会計研究学会評議員、日本経営分析学会理事などを歴任され、学会にも貢献されてこられました。2018年には日本管理会計学会学会賞（功績賞）を受賞されておられます。

浜田和樹教授は、他大学での学部長経験をはじめ学部運営に豊富な知識と見識をお持ちであり、われわれ後輩はさまざまなご助力とご指導を得ることができました。先生のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献を称え、深い感謝の意を表するために、ここに『商学論究』の記念号を刊行できることは大きな喜びです。先生のごこれまでのご尽力に感謝すると同時に、先生の今後益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、この記念号の刊行に際してご寄稿いただいた先生方、ならびに編集に携わっていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2019年3月

商学部長 林 隆敏